

2025年(令和7年)11月15日(土曜日)

岩ヶ谷さん全道準優勝

高校英語スピーチ 室蘭・海星2年

室蘭市の海星学院高校2年、岩ヶ谷太郎さん(18)が、10月に札幌で開かれた第18回全国高等学校英語スピーチコンテスト北海道ブロック大会(全国英語教育研究団体連合会主催)で準優勝し、来年2月に東京都で開かれる全国大会への出場権を獲得した。「全国で優勝を目指す」と意気込んでいる。

(坂本綾子)



2月に全国「優勝狙う」

スピーチの演題は「Remember, learn, Act(リメンバ・ラーン・アクト)」。ウクライナやパレスチナ・ガザ地区での戦争を踏まえ、アンネ・フランクの「アンネの日記」の一文を引用して「このような残虐行為は二度とあってはならない」と訴えた。

「自分はご飯を食べ、学校に通って勉強ができていのに、戦場の国との環境の差を感じる。今も続いていることが悲しい」とし、スピーチに戦争を取り上げた理由を説明した。

岩ヶ谷さんはフィリピン・マニラ出身で、父は日本人、母はフィリピン人。マニラではインターナショナルスクールに通い、英語を学んでいた。2023年から日本に住み、昨年4月に海星学院高校に入学。昨年のスピーチコンテストにも出場し、全道大会まで進んだが、入賞を果たせず「とても悔しかった」と振り返る。

今年の全道大会に向けては、同校で英語を教えるソリス・シオマラさんと二人三脚で、放課後などの空き時間を使ってスピーチのトレーニングに励んだ。審査員からの質問を想定した応答練習も繰り返し、大会で成果を発揮した。

全国切符を手にした岩ヶ谷さんは「本番までもっと練習を頑張りたい」と張り切る。

英語スピーチコンテストの全国大会へ出場する岩ヶ谷さん(左)と、指導に当たるシオマラさん